

人と水の物語



「せせらぎ遊園まちづくり」と名付けられた甲良町の取り組みは、地域づくりだけでなく、水環境や景観の整備にも目を向けた幅広いものです。お年寄りから若者まで、全集落のさまざまな人たちが集まり、平成2年に「むらづくり委員会」を結成。平成3年から、町内より参加者を公募した「せせらぎ夢現塾むげんしゅく」をスタートし、住民のあらゆる意見を取り込みながら、熱心な町づくりが繰り広げられています。

甲良町を散策すると「古川の小径」や「高虎公園」、「下之郷のせせらぎ」など、水を中心とした美しい景観に出会うことができます。さらに、町のあちから「ちらにはりめぐら」された水路には、住民の手作りによる水車が回り、四季の花々が咲き誇っています。また、水性植物による水質浄化や木炭を使った浄化など、さまざまな試みが町の人々の手によって積極的に行われています。町を流れるこれらのせせらぎは、犬上ダムや金屋頭首工かなやとつしゅくから供給される大切な農業用水であり、今日でも町中では野菜洗いや防火用水、融雪、屋敷内庭園への導水など、日常の生活用水としての役割を果たしたのち、水田へと流れ込む仕組みになっています。

絆の水



犬上川の流域のなかでも、古くから左岸扇状地として拓け、緑豊かな穀倉地帯である甲良町を訪ねました。13の集落からなるこの町は、近年、ユニークなまちづくりで脚光を浴びつつあります。

人と水を見つめた

「せせらぎの町づくり」

水への想いが伝わる 甲良町の町並み。

住民・企業行政がひとつになって「ゴミを撤去！」 犬上川クリーン作戦

今年の2月28日、甲良町の住民が中心となって犬上川に不法投棄されているゴミの収集ならびに清掃作業が実施されました。この運動に企画段階から携った甲良町役場住民課の宮崎与志男課長にお話をうかがいました。



甲良町役場住民課
宮崎与志男課長

甲良町では、町ぐるみでさまざまな環境整備に取り組んでいますが、残念ながら犬上川堤防等へのゴミの不法投棄が深刻な問題となっています。監視パトロールや広報による呼びかけ等、あらゆる方法をとって対応していますが、不法投棄防止へのより効果的な啓発活動のひとつとして、「犬上川クリーン作戦」のプランが持ち上がったわけです。幸い、地域住民の方々ははじめ、地元企業や商工会青年部等の賛同も得ることができ、いよいよ、住民、企業、行政の連携「ブレイ」によってクリーン作戦の実施が実現しました。今回は、金屋橋から彦根市領域境までの犬上川左岸、約4.5kmを重点的に清掃を行いました。

当日は、時折、雪の舞うあいにくの天候にもかかわらず約200人が参加。防寒対策もしっかりと手に手に火バサミやビニール袋を携えながら、空き缶やペットボトルをはじめ、多種多様なゴミの収集にあたっていただきました。

また、民間の方からのトラックや作業車両の提供もあり、当方で準備していたクレーン付きトラック等とともにタイヤや自転車、冷蔵庫庫などの粗大ゴミの回収・撤去に大きな力を発揮しました。およそ2時間半にわたる作業により、約100トンにおよぶゴミを収集。集めたゴミについては彦根土木事務所に回収処理をお願いしました。すべての作業が終了後、参加者のみなさんには、あたたかい豚汁を召し上がっていただきましたが、地域住民や地元企業が働く人々の意見交換の場として盛り上がり、クリーン作戦に参加した感想や不法ゴミに対する生の声を聞くこともできました。来年3月には、すでに「第2回・犬上川クリーン作戦」の実施を予定しており、これをひとつのステップにより多くの方々に河川愛護の想いを持っていただくことをこれから大きな目標にしたいと考えています。